

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告書

報告事項		内 容	
被監査事業所名		生活クラブ風の村サポートハウス稲毛	
監査実施日		実施日時: 2019年11月21日(木) 9:45 ~ 11:00	
監査結果		<p>&lt;監査人の総評&gt;                      当日は、研修生も2名あり、食事の説明を研修生にされていた為、ご利用者の食事状況がご利用者任せになっていたのではないかと思います。一人で何役もこなさなければいけないのか、又は研修生への説明の方法を考えても良いかもしれない。ただ、自立度の高いご利用者は、花の水を入れ替えたりテーブルを綺麗にして下さっており、職員と協力しているのがわかり自然であった。ノロキッド(ノロウイルス対策ツール)は台所の見えない場所に、薬もキッチンの下に整理整頓されわかりやすくなっていた。個ファイルについては、一枚一枚表紙をつけてあり手間がかかると思った。インデックスをつける方法もわかりやすいことを付け加えたい。ご利用者が少なかったが、自然に動かれている場面も見えた。</p> <p>&lt;被監査事業所のコメント&gt;                      食事は基本的には介助はない。実習生には食事の時に一緒に座ってもらっている。介護保険や独自サービスの方は食事介助をしている。書類整備は簡潔にできるよう今後も工夫していきたい。</p>	
監査項目		監査人	被監査事業所 サポートハウス稲毛
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
K A Z E G R A M  (風の村業務マニュアル)	①服薬介助について	薬剤師がご利用者毎にセット。薬は調理台の下に入れてある。 鍵付き、見えないところに保管。 	
	②夜勤、申し送りについて	申し送り事項ノートで対応。 エピソードなど・赤は夜勤、 黒は日勤で色分けしている。何でも発信ノート。 	
	③早番への引き継ぎについて	申し送り事項ノートで対応。、エピソードなど(赤:夜勤 黒:日勤)で色分けしわかりやすくなっている。	
	④体験入居及び一時介護室 日常の流れの把握について		
	⑤体験入居及び一時介護室ケア マネジャーとの調整について	現在は実施していない	
	⑥体験入居及び一時介護室医療と緊急連絡の把握について		

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告書

監査項目		監査人	被監査事業所 サポートハウス稲毛
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
（風のKAZEMAGニユアル）	⑧看取り介護の受け入れ(看取りケア、医師の診断と意思確認)について	医療とサービスの確認。訪問看護、定期巡回と連携を取っている。	
	⑨看取り介護の支援について	看取りノートがある。	
	⑩入居対応 居室準備について	部屋の片付け、掃除終了後にご利用者の入居を行っている。	
	⑪入居対応 利用者情報の共有・フェースシート、ケアの予定等の確認とは	申込書が個ファイルがある。個ファイルは番号順に整理され 一覧表がある。	
	⑫退所対応 私用物等の受け渡しについて	30日前チェックシートがある。	
	⑬退去対応 証書返却について	入院の場合は、退去にしている。	
ご利用者アンケート	食事・お風呂・トイレではプライバシーはまもられていますか	十分守られている。守られているが多い	
	非常時や災害時の対応方法を知っていますか。もしくは説明を受けていますか	知っている方もいるが、知らない、受けていない方もいる。	月1回の定例会で防災委員より報告や対応方法を説明しているが来月から欠席者にも確実に伝わるよう報告書で確認する。
	施設の設備や備品は安全で使いやすいですか	食堂が1箇所になってからスペースが狭く、ゆとりがなく思えるのご利用者の意見があった。	
10の基本ケア	1. 換気を行う	清掃チェックは無いが、行っている。	
	2. 床に足をつけて正しい座位をとる	床に足をつけて座っているご利用者もいたが、 <b>食事時に椅子とテーブルが離れており、ご利用者の食べこぼしが床に落ち拾って食べていた。椅子とテーブルの位置の確認。</b>	今年度中に椅子とテーブルの位置を再度考慮しながら食事介助を行う。
	3. できるだけトイレで用を足す	尿取りパッドはつけるが寝たきりは無い。トイレ誘導をしている。	
	4. あたたかい食事をする	<b>ご利用者がテーブルに着いてから、ご飯とみそ汁をよそっている。副菜は事前に職員がよそっている。エプロンをして食事をするご利用者有り。</b>	今年度中に椅子とテーブルの位置を再度考慮することでエプロンがなくても良い方法を検討する。



2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告書

監査項目		監査人	被監査事業所 サポートハウス稲毛
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
10の基本ケア	5. できるだけ普通のお風呂に入る	ディで入浴されている	
	6. 質の高い認知症ケアを行う	丁寧な言葉使いを基本とし、ですますで話すようにしている。年齢の若い職員は守れているが、 <b>年齢が高い職員は馴れ馴れしい言葉になりがち</b> の事。	「です」「ます」に限らずご利用者への声かけは丁寧にするこの必要性を会議等で説明を続ける
	7. お出かけを楽しむ	単独では行っていない。家族が来て行う環境を作っている。	
	8. やりたいことを見つけ、実現できる手助けをする	誕生会や、映画会、音楽をかけるなど手探り状態である。	
	9. 本人・家族が参加してケアプラン作りをする	担当者会議に参加しているが、計画書は作っていない。	
	10. ターミナルケアをする	行っている。	
接遇	身だしなみ	エプロン スニーカー 華美でない	
	言葉遣い	<b>挨拶は顔を見て行っている。</b>	
	環境	洗面所の汚れがあった。 <b>手洗いする場を綺麗にする。</b> 廊下の掲示物は画鋲でとめてあるものもあった。	共同スペースの清掃を徹底する。
情報共有(職員間)		訪問看護師との情報共有 いるメンバーで決定。カンファは月一回行っている。 <b>「何でも発信ノート」を取り入れ、提案に3人以上の「いいね」で提案を実行できる。</b>	

